

令和5年 春号

倉敷老健通信

Vol. 32

令和5年4月15日発行
倉敷老健
倉敷市老松町4-3-38
電話086-427-1111

コロナ禍の外出制限の中、少しでも気分転換になればと月に1回程度『旅介』というオンラインツアーに参加しています。

ナビゲータの方が観光地を巡りながら名所や名物をライブ中継で紹介してくれます。「倉敷老健の皆さ〜ん」と呼び掛けてくれたり、こちらからのメッセージを読み上げてくれたりとTVの中の人とやり取りすることに皆さん驚かれています。

これまで『山形県 宝珠山立石寺』、『伊勢内宮前 おかげ横丁散策』、『千葉県 成田山新勝寺』などの中継に参加しましたが、皆さんからは「昔行ったことがあるわあ〜」、「旅行気分が味わえて楽しかった」など好評を頂いています。

3月末には久しぶりに平成病院の駐車場まで桜を見に出掛けました。少しずつで良いので、楽しい常が戻ってきて欲しいものです。



【車椅子の活用】

介護保険の導入により、既製品でも各々に合った車椅子を活用しやすくなりましたが、当施設でも少しでも快適に生活して頂けるように、様々な種類の車椅子を用意しています。移乗の介助量が多い方には足を置く台や肘置きが外れるタイプを使用し、方向転換時の足の巻き込みを防止しています。ブレーキのかけ忘れがある方には、立上るとブレーキがかかる車椅子を使用することで、転倒予防にも努めています。

また、寝たきりの方には背もたれや座面が倒れる大きな車椅子を使用しています。短い時間から慣らして頑張った甲斐あってお花見に出掛けてた方も居られました。施設生活が安全で豊かになる様に福祉用具を活用して援助していきます。



足台が
外れる

【専門職紹介 栄養士編】

老健入所には専属の管理栄養士が配属されていて、治療食や飲み込み易く柔らかい食事の工夫など病院と同様の栄養管理が出来る環境です。

また、少しでも「美味しい」と喜んで頂けるように食事の時には直接お話しを伺いながら皆さんに寄り添った栄養管理をしてくれています。

温冷配膳車の導入により昔の病院食のイメージとは違い、温かいものは温かく、冷たいものは冷たく美味しい状態で提供できるようになりました。

月に1度は季節を感じられる行事食やお誕生日食などのお楽しみもあります。

高齢になると元気に見えても栄養が偏ったり不足している方や脱水傾向にある方も少なくありません。日頃から食事・水分量、体重の変化を確認しながら介護士・看護師・リハビリ職員とも連携して栄養サポートに取り組んでくれています。

栄養補助食品もドリンク、ヨーグルト、プリンタイプなど甘いものからさっぱりしたものまで各々の好みに幅広くお応えできるように数多くの種類を備えています。

在宅に退所される時には平成病院の売店やドラッグストアなどでも購入できる栄養補助食品などもご紹介させていただきます。



3月の行事食：ひなまつり食



栄養補助食品

気になる点があれば、お気軽にご相談下さい。



086-427-1111



動画用QRコード



只今、施設内の見学はお断りさせて頂いております。
施設での生活やリハビリの様子をYouTubeにて紹介させて頂いておりますので、是非ご覧ください。

倉敷老健 相談員 滝澤まで